第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）に対するパブリック・コメント手続の実施結果について
（モデル事業の対象施設に係る部分を抜粋）

- 1 意見の提出期間
平成26年6月11日（水）から7月10日（木）まで

- 2 意見の提出者数

提出者数	件数	意見の提出方法別の人数				
		Email	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
14人	84件	8人	1人	1人	3人	1人

- 3 意見の概要及び意見に対する市の考え方
別紙のとおり ※ 質問や意見の内容については、概要としています。また、同一のものはまとめて記載しています。

モデル事業（対象施設についてのもを含む。）に対する意見は、8人から20件の提出があった。

No.	第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン		意見の概要	市の考え方
	提出者	施設(群)名/分類		
1	A	府中グリーンプラザ	府中グリーンプラザは、仮に廃止する場合があっても、売却処分とすることは反対である。駅前の一等地であり、敷地は民間事業者に定期借地権などで貸し付けて、長期的な収入増を図るべきである。売却処分による歳入増は、一時的なものに過ぎない。また、将来の再開発の際にも活用できる土地であるので、敷地については市が保有していた方がよい。	府中グリーンプラザにつきましては、施設の老朽化の状況や他の施設との機能の重複、また市の中心部という立地などの特性を踏まえ、処分する事をまずは検討の方向性として掲げておりますが、今後様々な活用方法を比較検討したうえで、最終的に判断してまいります。
2	B	府中グリーンプラザ	幅広い年代の多くの人に利用されている利便性の高い施設であるにもかかわらず「処分」ということに反対です。老朽化が原因であるならば、処分ではなく、同じ場所に低価格で利用できる同じような施設をぜひ作ってください。	府中駅南口再開発事業に伴い新たに整備される公共施設の機能等も考慮しながら、検討を進めてまいります。
3	C	府中グリーンプラザ	府中グリーンプラザの利用者に対する配慮や情報の共有が不足していると思います。施設の処分によって一番影響を受けるのが利用者であることは明らかです。パブリック・コメントの期限も約1カ月という短い時間で打ち切るのではなく、もう少し多くの市民の意見を聞く必要があると思います。	今後具体的な検討を行う段階において、現状の課題などを共有するなかで、利用者も含め様々な立場の方からのご意見をいただきながら進めてまいります。
4			市民会館や府中の森芸術劇場は、値段が高く、駅から不便で、会議室も多くないので府中グリーンプラザの類似施設とは言えず、類似施設があるから府中グリーンプラザを廃止するというのは問題があります。	今後具体的な検討を行う段階において、現状の課題などを共有するなかで、利用者も含め様々な立場の方からのご意見をいただきながら進めてまいります。
5			府中グリーンプラザは、『市民文化の向上を図るとともにコミュニティ活動を増進するための施設』なので、今後はさらに施設活用の提案をし、新しい活動を充実させていくことが重要だと思います。市が市民と一緒に運営を充実していくモデルケースを作ることができるはずです。	府中駅南口再開発事業に伴い新たに整備される公共施設の機能等も考慮しながら、検討を進めてまいります。
6	C、D	府中グリーンプラザ	施設の老朽化とありますが、府中グリーンプラザは耐震構造に問題もなく、エレベーター工事を終え基本構造に問題はないと思います。現状十分に利用できる施設です。長期的に改善を図り、市民文化施設における施設運用の向上をすることが重要なのではないのでしょうか。(他1件)	ソフト面の向上は重要な課題ではありますが、公共施設としてまず優先すべきは建物の安全性とで考えております。ご指摘のとおり、府中グリーンプラザは耐震性能を有しておりますが、築30年以上経ち老朽化による大規模改修が必要な時期を迎えています。これを機会に今後の施設の活用について、検討していくことが必要であると考えております。
7	C	府中グリーンプラザ	近隣の大学や企業の利用を誘致し収益につなげたり、府中市農産物販売所の拡充したりするなど、広い視野を持って活用する方法があると思います。	ご指摘いただいた内容も踏まえ、今後具体的な検討を進めてまいります。
8			公共施設マネジメント白書によれば、全体的な稼働率は十分に高く、毎月抽選が必要なコマもあると聞いています。処分ではなく、拡充を検討すべきだと思います。	平成24年5月に策定した公共施設マネジメント基本方針において、施設総量の抑制・圧縮を掲げているなかで、他の施設にも整備されているホールや会議室等の拡充につきましては、困難であると考えております。
9	E	府中グリーンプラザ	府中駅南口再開発事業に伴い新たに公共施設が整備されるとのことですが、具体的にどのようなものになるか、知らされていません。新しい公共施設が出来上がって、利用状況等を見てから、どうするかを決定してもいいのではないのでしょうか。	府中駅南口再開発事業に伴い新たに整備される公共施設の機能等も考慮しながら、検討を進めてまいります。

No.	第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン		意見の概要	市の考え方
	提出者	施設(群)名/分類		
10	F	府中グリーンプラザ	かつては、いくつもの財団法人があり、統廃合の結果、現在は公益財団法人府中文化財団による運営がされている。財団の統廃合によって何が変わり、どのような効率的な運営ができるようになり、どのような効果が上がったのか、また現在の指定管理は平成27年度までとなっているが、その後はどのような形態を考えているのか明らかにしたい。	公益財団法人になることにより、社会的な信頼を得ることができ、また、税制上の優遇措置を受けることができるようになりました。平成28年度以降の施設管理者については、現在のところ未定となっております。今後の指定管理期間と指定管理者の選定については、平成26年度から平成27年度の2年間をかけて決定してまいります。
11			テナントの意見やサービスのあり方を検討しながら利用者のニーズにフレキシブルに対応する事はとても大切なことだと考えているが、これまでは、そういった視点が不足していたのではないかと考えている。財団は施設におけるテナントをどのように位置付けているのか明らかにしたい。	テナントの方々には、開館から30年以上施設の中の顔としての役割も十分に担ってきたと認識しております。今回は施設の老朽化と府中駅周辺500m以内の公共施設の再編、さらに再開発によって新たに整備される公共施設との機能のバランスという観点からプランづくりを考えていますので、その中で既存のテナントの方々を今後どうするのかということも含め検討を進めてまいります。
12			府中駅南口の再開発ビルには、公共施設が入ると聞いているが、その概要はどこまで具体的になっているのか。府中グリーンプラザの機能とどこが重複し、どこが異なるのか、明らかにすべきである。	府中駅南口再開発事業に伴い新たに整備される公共施設につきましては、平成23年に策定した「府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業における保留床(5階・6階)の活用方針について」の中で、市民活動や交流活動の活動拠点として、また市の総合案内やPRを行う場所などとして活用することを定めております。この活用方針の具体化に向け、平成23、24年度には市民活動推進協議会において拠点施設のあり方や機能について検討いただき、その報告を受け、現在再開発事業の進捗に合わせて詳細な検討を行っている段階でございます。これらの機能も考慮しながら、検討を進めてまいります。
13			府中市の公共施設に関する市民アンケートや意見交換会では、府中グリーンプラザは利便性がよく、利用しやすいという意見が多く、評価が高い。一方で、施設の概要や利用方法が知られていないという結果も出ている。これは、ソフト面が十分機能していない事が原因と思われる。公共施設は市民サービスであるという視点から、これまでの運営を見直すべきである。	市民アンケートにおいて、府中グリーンプラザを利用しない方が挙げる理由として、約70%の方は「利用する必要がない」となっています。これは、ソフト面の不足という課題だけでなく、ホールや会議室のニーズと市民ニーズに乖離や、他の施設でニーズが満たされていることなど、様々な要因があると考えております。これらの検証を行いながら、検討を進めてまいります。
14			今後の検討の方向性は、市民サービスが低下したり、市民に負担をお願いしたりといったやり方ではあってはならないと考える。より使いやすく、より活性化するための方策を考えるべきだと思う。府中グリーンプラザは、窓口業務のあり方を利用者の側に立って見直すだけで、稼働率は大きく変化するに違いない。さらに効率的な運営、新たなニーズの対応策を考えれば十分機能を果たせると考えている。	本市が保有する公共施設を現在の規模で維持していくためには、老朽化が進む施設の改修や建替えに対して、これまでの約2倍の費用がかかる見込んでおります。この課題解決を先送りすることは、将来の世代に過度な負担を残すこととなりますので、できるだけ早期に、施設の見直しも含めた抜本的な解決策を検討していく必要があると考えております。
15	G	府中グリーンプラザ、府中の森芸術劇場、郷土の森博物館	公益財団法人府中文化振興財団による運営施設は、他の事業者の運営による施設と比較して業務内容及びサービス水準が低いので、変更が必要である。府中の森芸術劇場などは劇場運営の専門家による運営に変更することで、内容充実とサービスの向上が図れるはずである。	短期の取組として、まずは利用者数や収入の増加に向けた方策を検討してまいります。また、取組の結果に応じて次期指定管理者の指定期間や業務内容については、柔軟な対応が可能となるよう調整を行う必要があると考えております。

No.	第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン		意見の概要	市の考え方
	提出者	施設(群)名/分類		
16	A	ふれあい会館	仮に廃止する場合は売却処分ではなく、賃貸ビルとして民間事業者に入札で貸し付けた方がよいと思う。幹線道路に面しており、需要はあると思う。	ふれあい会館につきましては、現在の使用状況や更なる活用という視点などを踏まえ、処分する事をまずは検討の方向性として掲げておりますが、今後様々な活用方法を比較検討したうえで、最終的に判断してまいります。
17	G	モデル事業1	府中グリーンプラザの機能を他に移設するのであれば、移設コストと新設コストの比較、施設処分価格と賃貸価格などコストの検証が必要である。	ご指摘いただいた内容を踏まえ、今後具体的な検討を行う際には、各種判断の根拠となる情報を適宜示しながら進めてまいります。
18			府中グリーンプラザの機能の移設にあたっては、稼働率等から移設の必要がある機能なのか検証が必要である。	各施設の機能を他施設に統合する際は、利用状況など様々な要素を踏まえ検討を進めてまいります。
19			府中グリーンプラザの機能の移設にあたっては、集約化によるコスト削減効果と利用者の利便性の比較等といった観点から移設する場所の検証が必要である。	各施設の機能を他施設に統合する際は、利用状況など様々な要素を踏まえ検討を進めてまいります。
20	H	モデル事業1	府中駅周辺施設の再編と、建設中の府中駅前再開発ビル及び建設予定の新庁舎は、お互いに考慮しているのか。していないのであれば、今からでも検討に入れるべきである。	府中駅南口再開発事業に伴い新たに整備される公共施設や新庁舎は、府中駅周辺施設の再編の対象とはしておりませんが、115ページの「特記事項」に記載のとおり、各施設の機能や事業の進捗状況などを踏まえて検討を行ってまいります。